

北海道高等学校文化連盟

第10回全道高等学校英語プレゼンテーションコンテスト 実施要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟国際交流専門部
- 2 当 番 校 北海道札幌手稲高等学校
- 3 期 日 令和5年5月21日（日）
- 4 会 場 未定（札幌市内：状況によってオンラインまたは動画審査に変更の可能性あり）
- 5 参加資格
 - ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する生徒。
 - ・英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）はチームに1名までとする。
- 6 チーム構成
 - 1 チーム3～9名まで。他校との合同チームも可とする。
 - ・1校からの参加生徒が10名以上の場合2チームの参加を認める。ただし1チームは5名以上とする。
 - ・1校からの参加生徒が19名以上の場合3チームの参加を認める。ただし1チームは6名以上とする。
 - ・ただし、機器等の操作だけを担当する生徒がいる場合は、その1名は発話をしなくても人数に含めて良いものとする。それ以外の生徒は必ず発話の機会を設けること。
- 7 内 容
 - (1) **新テーマ：「当該学校が所在する市町村を、次世代の子どもたちにとってより住みよい環境とするための施策」**
 - ※「環境」とは自然環境、住環境、交通の便等も入るものとする。
 - ※現在の環境を改善する方策を一つ考え、提案すること。
 - ※提案先は当該学校が所属する市町村、及び関係団体を想定すること。
 - ※実際のデータ、現地の取材、インタビュー等多角的にリサーチをしてプレゼンテーションをすること。
 - ※現地の取材、インタビュー等を行う際は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底すること。
 - ※具体的にどのような広報を行うのか、また実施計画全体でどのくらいの費用がかかるのかについても触れること。
 - ※使用する資料・画像・映像などについては、著作権、著作権、使用許諾等を確認の上で使用する。
 - (2) 制限時間：8分 開始後8分経過したら2回振鈴し発表を中止する。
(タイムキーパーが1分前で経過時間を掲示します)
 - (3) 発表方法：**プレゼンソフトの使用を基本とすること(プレゼンソフトの種類は不問)。使用言語は英語。プロジェクター・スクリーン・HDMI ケーブルは主催者側が準備しますが、コンピュータはご持参ください。また、持ち込み機材にHDMI ケーブルの差し込み口がない場合は、機材をつなぐ変換アダプターもご準備ください。使用ソフトによりWi-Fi環境を必要とする場合も、ポケットWi-Fi等をご準備ください。**
 - (4) 応答(Q&A)：質問者によるQ&Aは1問のみ。質問形式はWh- questionのみとする。
 - ※質問を聞き返すことも可能だが、聞き返しは1回までとする。質問終了後、聞き返しの時間も含めて1分以内に答え始めること。
 - ※決勝ラウンドでは他の決勝出場チームからの追加質問も受け付け、審査の対象とする。
 - 「質問者」による質問終了後30秒以内・1問のみとする。
 - 他チームからの質問者については、発表チームが選ぶものとする。
 - ※英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒は、応答(Q&A)の回答をしないこと。

8 審査基準

①現状分析(Analysis)	5 点	データに基づき現状を的確に把握しているか
②提示内容(Plan)	10 点	提案に新規性、創造性があるか (Creativity)
③提案効果(Effects)	10 点	課題解決は図られるか (Impact) 実現の可能性は高いか (Feasibility)
④構成(Organization & Logic)	10 点	スライド等を用い展開が分かりやすく論理的か
⑤英語運用(English & Delivery)	10 点	的確な表現を用い、明確に発話しているか
⑥応答(Q&A)	5 点	質問に的確に答えられたか
合 計	50 点	

9 審査員 予選3名程度 決勝戦6名程度

10 時 程	8 : 30 ~	受付	
	8 : 50 ~	開会式	
	9 : 20 ~ 10 : 20	予選 (3会場に分けて実施)	1 ~ 5
	10 : 30 ~ 11 : 45	予選	6 ~ 11
	11 : 45 ~ 12 : 25	昼休み	
	12 : 25 ~ 13 : 40	予選	12 ~ 17
	14 : 00	予選結果発表 各会场上位 2 位までのチームが決勝進出	
	14 : 10 ~	決勝進出チーム	1 ~ 6
	16 : 10 ~	結果発表 閉会式	

※時程は変更されることがあります。

11 参加費 1チームにつき3,000円
※大会当日に受付で納入してください。動画審査時は所定の口座に振り込みとなります。

12 申込 出場申込書に必要事項を記入し、**4月21日(金)までに**下記担当宛にメールで送信してください。メールを受信次第、3日以内に確認メールを返信します。
また、申し込みに関する問い合わせは下記担当までお願いいたします。
送信先：北海道高等学校文化連盟国際交流専門部事務局（北海道札幌手稲高等学校）小西陽子
TEL: 011-683-3313 / MAIL: ykonishi@hokkaido-c.ed.jp

13 表彰 1～2位に優勝カップ+賞状、3～6位に賞状を授与。その他に奨励賞あり（3校）。

14 感染症対策 (1)会場には、発表生徒及び引率顧問以外は入場できません（保護者等への周知をお願いします）。

今後の感染症対策方針によって、この部分は削除・変更する予定です。

- (2) 昼食をとる際は、指定の場所において黙食の徹底をお願いします。
(3) 参加校については別添の参加同意書、検温・健康状態確認表を事前に出場生徒に渡し、大会当日に提出できるようご準備ください。
(4) 新型コロナウイルス感染症の状況次第では、動画審査に変更する場合があります。4月21日(金)頃を目処に判断し、当専門部ホームページでお知らせいたします。また、動画審査の場合は審査基準の変更があります。

15 その他 (1) 地区大会の開催はありません。参加資格のある学校は出場可能です。
(2) 上靴は必要ありません。外靴のまま会場にお入りください。
(3) 宿泊先の斡旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。
(4) できるだけ公共交通機関等を使ってお越し下さい。貸切バス等を使用される場合は、事前に事務局までお知らせください。